

国

語

1年	現代の国語
1年	言語文化
2年	現代文B
2年	古典B
2年	国語力養成講座
2年	文章読解演習
3年	現代文B
3年	古典B
3年	国語演習
3年	国語表現
3年	受験国語
3年	総合型対策・国語
3年	文学鑑賞
3年	日本語と表現
3年	実用国語

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースIクラス		国語	現代の国語	必修	3単位	渡辺智之
教科書	数研出版「新編 現代の国語」		副教材	「漢字マイスター3000」 「論読現代文1」「常用国語便覧」□		
授業のねらい	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。・実社会で必要となる語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。					
学習上の留意点	・難関大学、日東駒専合格を見据えた授業を展開していく。・忠が功で習得した内容にも適宜触れながら学んでいく。・宿題を適宜課す。取り組みがないと授業に支障が出るため、必ず行うこと。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	・評論「目指す世界の地図を作る」 ・評論「時間とは何か」		・文章の構成や展開を確かめ、筆者の主張を的確に読み取る。※文章の読み方など中学校の復習も行う		
	5月	・評論「地球を旅する水の話」 ・「論読現代文1」		・時間の捉え方や水の循環(東野SDGsとの関連)という身近なテーマを通し思考力を養う。		
	6月	・評論「水の東西」 ・評論「里山物語」		・日本と西洋の比較を通して文化の違いを知り、両者の特徴を考える。		
	7月	・「文章構造を理解する・要約する・比較する・意見文を書く」		・人間と自然のあり方をめぐる筆者の問題意識を把握し、「里山」の意味を考える(東野SDGsとの関連)。		
2 学 期	9月	・評論「世間話はなぜするのか」 ・評論「語感トレーニング」		・筆者の主張を理解し、世間話や挨拶の意味を考える。 ・日本語の変遷を知り、現代日本語の特性を理解する。		
	10月	・「スピーチ・ディベート」		・自身の考えを他者にわかりやすく伝え、発表や表現の力を養う。		
	11月	・評論「コインは円形か」 ・評論「科学と非科学」		・筆者の主張と具体例から、「レトリック」の意義を理解する。		
	12月	・「論読現代文1」		・「科学」と「非科学」との違いを理解し、「科学的な姿勢」について考える。		
3 学 期	1月	・評論「『差』という情報」 ・評論「『わらしべ長者』の経済学」		・「差」という観点から展開される筆者の思考を読み取る。		
	2月	・「討議・プレゼンテーション」 ・「論読現代文1」		・身近な昔話に対する一般的な理解と対比させて、筆者の主張を理解する。		
	3月			※夏期・冬期休業中には課題あり。 ※iPadなど必要に応じて活用していく(通年)。		

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス		国語	現代の国語	必修	3単位	長谷川尚也
教科書	数研出版「新編 現代の国語」		副教材	「漢字マイスター3000」 「論読現代文1」「常用国語便覧」□		
授業のねらい	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。・実社会で必要となる語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。					
学習上の留意点	・難関大学、日東駒専合格を見据えた授業を展開していく。・忠が功で習得した内容にも適宜触れながら学んでいく。・宿題を適宜課す。取り組みがないと授業に支障が出るため、必ず行うこと。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	・評論「目指す世界の地図を作る」 ・評論「時間とは何か」		・文章の構成や展開を確かめ、筆者の主張を的確に読み取る。※文章の読み方など中学校の復習も行う		
	5月	・評論「地球を旅する水の話」 ・「論読現代文1」		・時間の捉え方や水の循環(東野SDGsとの関連)という身近なテーマを通し思考力を養う。		
	6月	・評論「水の東西」 ・評論「里山物語」		・日本と西洋の比較を通して文化の違いを知り、両者の特徴を考える。		
	7月	・「文章構造を理解する・要約する・比較する・意見文を書く」		・人間と自然のあり方をめぐる筆者の問題意識を把握し、「里山」の意味を考える(東野SDGsとの関連)。		
2 学 期	9月	・評論「世間話はなぜするのか」 ・評論「語感トレーニング」		・筆者の主張を理解し、世間話や挨拶の意味を考える。 ・日本語の変遷を知り、現代日本語の特性を理解する。		
	10月	・「スピーチ・ディベート」		・自身の考えを他者にわかりやすく伝え、発表や表現の力を養う。		
	11月	・評論「コインは円形か」 ・評論「科学と非科学」		・筆者の主張と具体例から、「レトリック」の意義を理解する。		
	12月	・「論読現代文1」		・「科学」と「非科学」との違いを理解し、「科学的な姿勢」について考える。		
3 学 期	1月	・評論「『差』という情報」 ・評論「『わらしべ長者』の経済学」		・「差」という観点から展開される筆者の思考を読み取る。		
	2月	・「討議・プレゼンテーション」 ・「論読現代文1」		・身近な昔話に対する一般的な理解と対比させて、筆者の主張を理解する。		
	3月			※夏期・冬期休業中には課題あり。 ※iPadなど必要に応じて活用していく(通年)。		

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		国語	現代の国語	必修	3単位	鬼嶋知見・上田淳子・佐藤佑紀
教科書	数研出版「新編 現代の国語」		副教材	駿台文庫「漢字・語彙カドリル」 「常用国語便覧」口		
授業のねらい	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。					
学習上の留意点	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。					
評価方法	・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解する。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉える。					
観点別評価	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	・評論「目指す世界の地図を作る」 ・わかりやすく話す ・熟語		・筆者の意図や表現上の工夫を的確に読み取り、学習課題に沿って適切に説明できるようにする。		
	5月	・評論「時間とは何か」 ・評論「地球を旅する水の話」 ・メモをとりながら聞く ・類義語		・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解する。 ※文章の読み方、基本的語彙など、中学校の復習も行う。		
	6月	・評論「水の東西」 ・対義語 ・評論「世間話はなぜするか」 ・非言語コミュニケーション ・慣用句		・文章の構成や展開を確かめ、筆者の主張を的確に読み取る。 ・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察する。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。		
	7月					
2 学 期	9月	・写真を文章で説明する ・広告コピーを書く ・表現の工夫を読みとる ・評論「語感トレーニング」 ・評論「コインは円形か」 ・接続語 ・外来語		・実社会において理解したり、表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・同じような意味の、語種が異なる語を複数挙げて、語感の違いについて理解する。		
	10月					
	11月	・評論「科学と非科学」 ・評論「科学的とはどういう意味か」 ・必要な情報を整理して書く ・同音異義語・同訓異字		・筆者の主張に対する自分の意見を根拠を明確にして理解する。 ・特定の言葉について、二つの文章に共通する考え方を読み取り、説明する。 ・《科学と非科学》と《科学的とはどういう意味か》の内容を関連づけて理解し、的確に共通点を導き出すことができるようにする。		
	12月					
3 学 期	1月	・評論「『差』という情報」 ・評論「『わらしべ長者』の経済学」 ・目的に応じて情報を聞き取る ・ことわざ・故事成語		・「『差』の持つ意味」について、根拠や例を明確にししながら、自分の考えを論理的に述べるができるようにする。		
	2月	・文章の構成を工夫して提案する ・課題を発見し解決策を発表する ・グラフをもとに話し合う		・「わらしべ長者」の男の経済活動に対する筆者の評価を踏まえた上で、本文についての自分の考えを論拠とともに明示できるようにする。 ・筆者の主張を捉えたうえで、自分の考えを積極的に深めて文章にまとめることができる。		
	3月			・企画の根拠を資料から適切に読み取り、書式に対応した内容を書いたうえで、説得力のある結論を提示することができるようにする。		

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースIクラス		国語	言語文化	必修	3単位	渡辺智之
教科書	数研出版「新編 言語文化」		副教材	「解析 古典文法」「演習ノート」「key&Pointみるみる覚える古文単語300+敬語30」「常用国語便覧」口		
授業のねらい	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。・日本の言語文化の特質や、日本の文化と外国の文化との関係について理解する。・古典(古文・漢文)に親しみ、歴史的文化的背景を学び、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。					
学習上の留意点	・難関大学、日東駒専合格を見据えた授業を展開していく。・忠が功で習得した内容にも適宜触れながら学んでいく。・宿題を適宜課す。取り組みがないと授業に支障が出るため、必ず行うこと。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	・古文「児のそら寝」 ・古文「検非違使忠明」		・音読を通じて古文になれ、登場人物の行動や心情を理解する。※歴史的仮名遣いなど中学校の復習も行う		
	5月	・古典文法(動詞・形容詞)		・発音や書き込みを繰り返して、動詞と形容詞の活用を理解する。		
	6月	・小説「羅生門」 ・古文「高名の木登り」		・作品に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して味わい、主題について考える。		
	7月	・古文「ある人、弓射ることを習ふに」 ・古典文法(形容動詞)		・古文単語や文法事項をもとに現代語訳を行う。 ・随筆を学び、ものの見方や感じ方・考え方を豊かにする。		
2 学 期	9月	・古文「芥川」 ・古文「筒井筒」		・主語を正確に把握し、現代語訳をして内容を理解する。 ・和歌の果たす役割や効果について理解し、物語を味わう。		
	10月	・古典文法(助動詞)		・助動詞の活用や意味を理解する。		
	11月	・小説「葉桜と魔笛」 ・詩歌「六月」「サーカス」「短歌」		・物語の内容を理解し、題名に込められた意味を考える。 ・詩歌を味わい、表現の特徴や季語を理解する。		
	12月	「俳句」 ・漢文「訓読のきまり」「格言」		・漢文を読むための決まりを理解し、書き下し文を作成する。		
3 学 期	1月	・漢文「助長」「漁夫の利」「虎の威を借る狐」「管鮑の交わり」		・書き下し文や現代語訳を行い、内容を理解する。 ・漢詩の決まりや特徴を理解し、作品を味わう。		
	2月	・漢詩「中国の漢詩」「日本の漢詩」		・和漢混交文や音便が多用された文章になれ、内容を理解する。		
	3月	・古文「木曾の最期」		※夏期・冬期休業中には課題あり。 ※iPadなど必要に応じて活用していく(通年)。		

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス		国語	言語文化	必修	3単位	渡辺智之
教科書	数研出版「新編 言語文化」		副教材	「解析 古典文法」「演習ノート」「key&Pointみるみる覚える古文単語300+敬語30」「常用国語便覧」口		
授業のねらい	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。・日本の言語文化の特質や、日本の文化と外国の文化との関係について理解する。・古典(古文・漢文)に親しみ、歴史的文化的背景を学び、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。					
学習上の留意点	・難関大学、日東駒専合格を見据えた授業を展開していく。・忠が功で習得した内容にも適宜触れながら学んでいく。・宿題を適宜課す。取り組みがないと授業に支障が出るため、必ず行うこと。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	・古文「児のそら寝」 ・古文「検非違使忠明」		・音読を通じて古文になれ、登場人物の行動や心情を理解する。※歴史的仮名遣いなど中学校の復習も行う		
	5月	・古典文法(動詞・形容詞)		・発音や書き込みを繰り返して、動詞と形容詞の活用を理解する。		
	6月	・小説「羅生門」 ・古文「高名の木登り」		・作品に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して味わい、主題について考える。		
	7月	・古文「ある人、弓射ることを習ふに」 ・古典文法(形容動詞)		・古文単語や文法事項をもとに現代語訳を行う。 ・随筆を学び、ものの見方や感じ方・考え方を豊かにする。		
2 学 期	9月	・古文「芥川」 ・古文「筒井筒」		・主語を正確に把握し、現代語訳をして内容を理解する。 ・和歌の果たす役割や効果について理解し、物語を味わう。		
	10月	・古典文法(助動詞)		・助動詞の活用や意味を理解する。		
	11月	・小説「葉桜と魔笛」 ・詩歌「六月」「サーカス」「短歌」		・物語の内容を理解し、題名に込められた意味を考える。 ・詩歌を味わい、表現の特徴や季語を理解する。		
	12月	「俳句」 ・漢文「訓読のきまり」「格言」		・漢文を読むための決まりを理解し、書き下し文を作成する。		
3 学 期	1月	・漢文「助長」「漁夫の利」「虎の威を借る狐」「管鮑の交わり」		・書き下し文や現代語訳を行い、内容を理解する。 ・漢詩の決まりや特徴を理解し、作品を味わう。		
	2月	・漢詩「中国の漢詩」「日本の漢詩」		・和漢混交文や音便が多用された文章になれ、内容を理解する。		
	3月	・古文「木曾の最期」		※夏期・冬期休業中には課題あり。 ※iPadなど必要に応じて活用していく(通年)。		

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者			
1年生 進学コース Aクラス		国語	言語文化	必修	3単位	河野秀夫・石井岳大			
教科書	数研出版「新編 言語文化」		副教材	「解析 古典文法」「演習ノート」「key&Pointみるみる覚える古文単語300+敬語30」「常用国語便覧」口					
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深める。 ・論理的に考える力や深く共感・想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 								
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な読み書きから正しい漢字の書き方など学習の根幹であることを理解する。 								
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、提出状況、臨む姿勢を自らが高める意識を持つこと。 								
観点別評価	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。								
学習計画		単元		学習目標					
1 学 期	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・小説「羅生門」 ・古文に親しもう ・古文「児のそら寝」 		<ul style="list-style-type: none"> ・文学作品を読み取り、場面の状況や人物の心情把握を行う。 ・文章の構成や展開を確かめ、筆者の主張を的確に読み取る。 					
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・古文「高名の本登り」 ・随筆「とりあえず、男がいた」 ・古文「筒井筒」 							
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・詩歌「短歌・俳句」 ・言語文化と漢文 ・訓読のきまり ・格言 ・漢文「助長」 ・漢文「漁夫の利」 ・漢文「虎の威を借る狐」 		<ul style="list-style-type: none"> ※歴史的仮名遣いなど中学校の復習も行う ・詩歌に親しみ、言葉の特徴や使い方を理解する。 ・書き下し文や訓読の方法を理解する。 ・漢文読解のルールに基づき、先人の名言を味わう。 ・自ら書き下し文や現代語訳の作成を行い、文章の内容を的確に読み取る。 					
	7月								
2 学 期	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・古文「木曾の最期」 ・古文「平泉」 		<ul style="list-style-type: none"> ・義仲と兼平の人物像について本文を踏まえて理解し、根拠立てて理解する。 ・単語や文法事項に注意して、正確に読み取り、現代語訳を行う。 ・辞書や文法テキストを調べながら和歌を正確に現代語訳する。 ・助動詞の意味と訳し方を理解する。 					
	10月								
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩「春暁」 ・漢詩「江雪」 ・漢詩「涼州詞」 ・漢詩「送元二使安西」 ・漢詩「春望」 		<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 ・比喩表現の中から鋭い風刺を読み取り、筆者の主張を理解する。 					
	12月								
3 学 期	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文「論語」 		<ul style="list-style-type: none"> ・「論語」の成立過程と日本への影響について、理解する。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 ・内容を適切に理解・解釈し、孔子の主張や生き方を学ぶ。 					
	2月								
	3月								

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースIクラス		国語	現代文B	必修	4単位	小池功一郎
教科書	大修館書店「現代文 改訂版 上巻」		副教材	第一学習社「漢字マイスター頻出漢字熟語3000」浜島「論読現代文2」いづな「大学入試国語頻出問題1200」		
授業のねらい	・自己と他者の関係を考える文章を中心に、近代以降の優れた文章を読解し、鑑賞する能力を高める。・演習形式の授業を通して問題を解くことに慣れ、入試問題に対応できる力を身につける。					
学習上の留意点	・自宅学習では辞書を使って語彙を調べる習慣を付けること。・演習問題は自宅で取り組んだ上で授業に参加すること。・漢字検定合格に向け自宅学習に取り組むようにすること。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	評論「可能無限」		・筆者の主張から、自分の未来についての思いを表現する。		
	5月	評論「ミロのヴィーナス」 現代文演習		・漢字・語彙を習得する。		
	6月	小説「山月記」 模試対策		・登場人物の心情を読み取りながら、文章を理解する。		
	7月			・演習を通して、模試対策実施。 夏期休業中課題あり		
2 学 期	9月	評論 「居住空間における日本的なもの」		・他者の意見を踏まえ、自己の考えを深め、表現する。		
	10月	小説「こころ」 模試対策		・3年0学期に向け、演習を徹底し、 模試の得点率上昇を図る。		
	11月	現代文演習		・マーク形式の解き方に対応できる力を養う。		
	12月			冬期休業中課題あり		
3 学 期	1月	模試対策		・1年後の入試に向けた演習対策。 ・マーク形式の解き方に対応できる力を養う。		
	2月			※1クラスの授業方針により、ペーパーレス化や英語と結びつけた学習活動を行っていきます。		
	3月	現代文演習				

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 特進コースSクラス	国語	現代文B	必修 3単位	保坂征範
教科書	大修館書店「現代文 改訂版 上巻」		副教材	第一学習社「漢字マイスター頻出漢字熟語3000」浜島「論読現代文2」いっずな「大学入試国語頻出問題1200」
授業のねらい	・自己と他者の関係を考える文章を中心に、近代以降の優れた文章を読解し、鑑賞する能力を高める。 ・演習形式の授業を通して問題を解くことに慣れ、入試問題に対応できる力を身につける。			
学習上の留意点	・自宅学習では辞書を使って語彙を調べる習慣を付けること。 ・演習問題は自宅で取り組んだ上で授業に参加すること。 ・漢字検定合格に向け自宅学習に取り組むようにすること。			
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。□			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	評論「可能無限」	・筆者の主張から、自分の未来についての思いを表現する。	
	5月	評論「ミロのヴィーナス」 現代文演習	・漢字・語彙を習得する。	
	6月	小説「山月記」 模試対策	・登場人物の心情を読み取りながら、文章を理解する。	
	7月		・演習を通して、模試対策実施。 夏期休業中課題あり	
2 学 期	9月	評論 「居住空間における日本的なもの」	・他者の意見を踏まえ、自己の考えを深め、表現する。	
	10月	小説「こころ」 模試対策	・3年0学期に向け、演習を徹底し、 模試の得点率上昇を図る。	
	11月	現代文演習	・マーク形式の解き方に対応できる力を養う。	
	12月		冬期休業中課題あり	
3 学 期	1月	模試対策	・1年後の入試に向けた演習対策。	
	2月		・マーク形式の解き方に対応できる力を養う。	
	3月	現代文演習		

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス	国語	現代文B	必修	3単位	千葉友樹也・小池功一郎・田中逸男
教科書	東京書籍「精選 現代文B」		副教材	いわずな「げんたん」駿台文庫「漢字・語彙カードリル」	
授業のねらい	他者の意見を正確に読み取る。 設問に対する答えの求め方や記述の仕方を理解する。 自分の意見を持ち、それを他者に伝えることができるようになる。				
学習上の留意点	教員の解説はあくまでも補助であり、自ら思考せねば力はつかないことを意識すること。				
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。□				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	単元		学習目標		
1 学 期	4月	『世界をつくり替えるために』	漢字検定2級レベルの語彙力を高める。		
	5月	『ミロのヴィーナス』 スタディープログラム評論④	・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。 評論文の読解方法を学ぶ。		
	6月	『相手依存の自己規定』 『科学的「発展」とは』	・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。		
	7月				
2 学 期	9月	『おじいさんのランプ』 『消費されるスポーツ』	・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。		
	10月				
	11月	『「である」ことと「する」こと』 『人間の運命と科学』	・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。		
	12月				
3 学 期	1月	『日本人の美意識』	・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。		
	2月	『地図の想像力』 自己表現	他者にわかりやすく伝える方法を学ぶ。		
	3月	問題演習	大学入試を見据え、様々な評論文のテーマに触れる。		

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 特進コースIクラス	国語	古典B	必修 4単位	保坂征範
教科書	東京書籍「精選古典B」		副教材	「解析 古典文法」「演習ノート」「Key&Pointみるみる覚える古文単語300+敬語30」「常用国語便覧」「いづな」大学入試 国語頻出問題1200口
授業のねらい	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。			
学習上の留意点	本文の音読や単語の意味調べなどの予習を行い、学習に取り組むこと。			
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	古文「小野篁、広才のこと」 古文「姨捨」	・既習文法の確認(用言・助動詞)。 ・既習句法の確認(再読文字・訓読点)。	
	5月	漢文「先從隗始」 漢文「漱石枕流」		
	6月	古文「中納言参り給ひて」	・模試に向けた対策、演習実施。 ・敬語、助詞。	
	7月	古文「宮に初めて参りたるころ」	・古文常識 夏期休業中課題あり	
2 学 期	9月	古文「壇ノ浦の合戦」	・古文文法、漢文句法の確認。	
	10月	漢文「鴻門之会」	・模試に向けた対策、演習実施。	
	11月	古文「桐壺」	・登場人物の整理、物語背景を理解しつつ、	
	12月	古文「若紫」	文章全体を把握する。 冬期休業中課題あり	
3 学 期	1月	古文「花は盛りに」	・新傾向入試に向け他作品と詠み比べを行い、 複数テキストからあらゆる情報を読み取る演習を行う。	
	2月	漢文「桃夭」「飲酒」	・適宜入試演習。	
	3月	模試対策	※Iクラスの授業方針により、ペーパーレス化や英語と結びつけた学習活動を行っていきます。	

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 特進コースSクラス	国語	古典B	必修 3単位	保坂征範
教科書	東京書籍『精選古典B』		副教材	「解析 古典文法」「演習ノート」「key&Pointみるみる覚える古文単語300+敬語30」「常用国語便覧」「いわずな」「大学入試 国語頻出問題1200」□
授業のねらい	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。			
学習上の留意点	本文の音読や単語の意味調べなどの予習を行い、学習に取り組むこと。			
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	古文「小野篁、広才のこと」 古文「姨捨」	・既習文法の確認(用言・助動詞)。 ・既習句法の確認(再読文字・訓読点)。	
	5月	漢文「先從隗始」 漢文「漱石枕流」		
	6月	古文「中納言参り給ひて」	・模試に向けた対策、演習実施。 ・敬語、助詞。	
	7月	古文「宮に初めて参りたるころ」	・古文常識 夏期休業中課題あり	
2 学 期	9月	古文「壇ノ浦の合戦」	・古文文法、漢文句法の確認。	
	10月	漢文「鴻門之会」	・模試に向けた対策、演習実施。	
	11月	古文「桐壺」	・登場人物の整理、物語背景を理解しつつ、	
	12月	古文「若紫」	文章全体を把握する。 冬期休業中課題あり	
3 学 期	1月	古文「花は盛りに」	・新傾向入試に向け他作品と詠み比べを行い、 複数テキストからあらゆる情報を読み取る演習を行う。	
	2月	漢文「桃夭」「飲酒」	・適宜入試演習。	
	3月	模試対策		

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 進学コースAクラス	国語	古典B	必修 3単位	武井智巳・柳井雅人・上田淳子
教科書	東京書籍「精選古典B」		副教材	「解析 古典文法」「演習ノート」「key&Pointみるみる覚える古文単語300+敬語30」「常用国語便覧」
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 古文を読む能力を養うとともに、古文に親しみ人生を豊かにする態度を養う。 読解の土台となる基礎古文文法を理解する。 			
学習上の留意点	授業用ノートをしっかり作成し、復習に重点を置き知識の定着を図ること。			
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元		学習目標	
1 学 期	4月	文法「用言」	・用言の活用の種類と活用を覚える。	
		古文「初冠」	・当時の貴族の風習や習俗について理解を深める。	
	5月	古文「すける物思ひ」	・主語を中心に全体のストーリーを押さえる。	
	6月	文法「助動詞」	・読解に必要な助動詞の接続・活用・意味を理解する。	
		古文「門出」	・作者の育った東国の生活について理解を深める。	
7月	古文「物語」	<ul style="list-style-type: none"> 『源氏物語』を手にした作者の心情の変化を捉える。 夏期休業中課題あり 		
2 学 期	9月	文法「敬語」	・敬語の種類・敬意の方向を理解する。	
		古文「中納言参り給ひて」	・作者の当意即妙を読み取る。	
	10月	古文「雪のいと高う降りたるを」	・場面を把握し定子の意図と作者の機転を読み取る。	
	11月	文法「読動詞」	・助動詞と他の語の繋がりを理解する。	
古文「道長、伊周の競射」		・語り手の道長賛美の姿勢を読み取る。		
12月	古文「三船の才」	<ul style="list-style-type: none"> 貴族の教養の確認と和歌の修辞を理解する。 冬期休業中課題あり 		
3 学 期	1月	文法「助詞」	・六種類の助詞とその働き、訳し方を理解する。	
		古文「光源氏の誕生」	・物語の世界を読み解き、その魅力を感じ取る。	
	2月	古文「若紫」	・物語背景を理解しつつ、文章全体を把握する。	
3月	※ 漢文は適宜学習する。			

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		国語	国語力養成講座	選択	2単位	田中逸男
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。)		
授業のねらい	語彙力強化、文章読解、文章作成等、総合的な国語力を養成する。					
学習上の留意点	その他、必要に応じてプリントを配布する。					
評価方法	授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	語意・文法①		語句の意味を正しく知り、的確に用いることができるようにする。		
	5月	資料分析①		簡易なグラフの読み取りを行う。		
	6月	資料分析②		文章とデータおよび筆者の主張を読み取れるようにする。		
		語意・文法②		語句の意味を正しく知り、的確に用いることができるようにする。		
7月						
2 学 期	9月	文章読解		言い換えや指示内容を正しく捉える。		
	10月	手紙文		適切な表現・表記を理解する。 敬語のただし使い方を身につける。		
		意見文		事実・意見・感想の区別、理解及び意見文を書けるようにする。		
	12月	語意・文法③		語句の意味を正しく知り、的確に用いることができるようにする。		
3 学 期	1月	まとめ		文章検定3級取得を目指した総合演習を行う。		
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		国語	文章読解演習	選択	2単位	千葉友樹也
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。)		
授業のねらい	多くの読解問題に触れ、大学入試に直結する実戦的な力を養成する。					
学習上の留意点	必要に応じてプリントを配布する。					
評価方法	授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	通年で多くの文章を読解する。 評論Ⅰ		漢字・語彙の定着を図りつつ、多くの文章に触れる。 指示内容を確実にとらえる。 接続語を意識する。		
	5月					
	6月	小説		登場人物の心情や思想を理解する。 小説独特の表現を味わう。		
	7月					
2 学 期	9月	評論Ⅱ		筆者の主張や文章の構成を確実に理解する。		
	10月					
	11月	韻文		詩・短歌・俳句の鑑賞		
	12月					
3 学 期	1月	大学入試問題読解		1・2学期の学びをもととして簡単な大学入試問題に触れ、実戦的な力を養う。		
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		国語	現代文B	必修	3単位	川口ひろみ
教科書	大修館書店「現代文 改訂版 下巻」		副教材	浜島「論読現代文3」第一学習社「漢字マイスター3000」		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・評論では、筆者の主張や文章の構成を理解する。 ・小説では、登場人物の心情や思想を読み解く。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事柄(漢字・語彙)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・演習問題は、家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	評論「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ		<ul style="list-style-type: none"> ・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 		
	5月	評論「文明と文化の教育」		<ul style="list-style-type: none"> ・論旨を捉え、要約する。 ※通年で、模擬試験や検定試験の対策をしていく。 		
	6月	評論「生物多様性の恩恵」		<ul style="list-style-type: none"> ・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 		
	7月	評論「猫は後悔するか」		<ul style="list-style-type: none"> ・論旨を捉え、要約する。 		
2 学 期	9月	評論「風景はどのように立ち現れるか」		<ul style="list-style-type: none"> ・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。 		
	10月	問題演習(記述・マーク)		<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を重ね、慣れる。 		
	11月	評論「無常ということ」		<ul style="list-style-type: none"> ・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。 		
	12月	問題演習(記述・マーク)		<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を重ね、慣れる。 		
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	現代文B	必修	3単位	藤井千栄子・柳井雅人・田中逸男
教科書	東京書籍「精選 現代文B」		副教材	いいずな「げんたん」「漢字トレーニング」		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自己と社会との関係を考える文章を中心に、近代以降の様々な文章を読む能力を高める。 ・筆者の主張や考え方・感じ方を的確に読み取り、自己表現力を高める。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事柄(漢字・語彙)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・演習問題は、家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	評論「文学の未来」		<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成を意識して文章を精読する。 ・筆者の主張・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論理的な展開を的確に読み取り、読解を丁寧に行う。 ・他者の生き方を参考に、自身の生き方を見つめる。 		
	5月	評論「言語と記号」				
	6月	評論「環境問題と孤立した個人」				
	7月					
2 学 期	9月	評論「鏡の中の現代社会」		<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成を意識して読解を行う。 ・筆者の主張・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・授業中は積極的に発言をし、ノートを作成する。 ・漢字・語句の小テストに備え、自宅学習を行う。 ・自分の思いや考えをまとめ、感想文・意見文を書く。 ・文章の内容を理解し、適切に要約する。 ・定期試験で内容の理解度を確認する。 		
	10月	評論「社会の壊れる時」				
	11月	評論「サッポロにおける『資本主義の精神』」				
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
3年生 特進コースSクラス	国語	古典B	必修 3単位	川口ひろみ
教科書	東京書籍「精選古典B」		副教材	「解析 古典文法」「演習ノート」「Key&Pointみるみる覚える古文単語300+敬語30」「常用国語便覧」「いわずな」大学入試 国語頻出問題1200口
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・単語や文法事項を確実に理解して、古文と漢文を読む能力を身に付ける。 ・ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事柄(単語・文法事項)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・演習問題は、家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。 			
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元		学習目標	
1 学 期	4月	古文・説話 「十訓抄」成方といふ笛吹き	<ul style="list-style-type: none"> ・古典文法の確認 ・古人のものの見方や感じ方、考え方を理解する。 	
	5月	「宇治拾遺物語」留志長者のこと 漢文・詩	<ul style="list-style-type: none"> ・話の構成に着目し、説話の特色を理解する。 ・漢詩を読み、情景・心情を読み味わう。 	
	6月	古文・日記 紫式部日記・和泉式部日記	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな日記を読み、作品の内容や特色を理解する。 	
	7月	漢文「長恨歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・「源氏物語」「枕草子」等と関連付けながら、日本と中国の文化との関係について理解を深める。 	
2 学 期	9月	古文・物語 「源氏物語」	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の整理、物語背景を理解しつつ、文章全体を把握する。 	
	10月	漢文・小説 「桃花源記」	<ul style="list-style-type: none"> ・話の展開をとらえ、そこに描かれた世界を読み味わう。 	
	11月	入試実戦演習	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト・私大個別入試に向けての演習を行う。 	
	12月			
3 学 期	1月		<ul style="list-style-type: none"> ※適宜、模試対策・入試問題演習を行う。 	
	2月			
	3月			

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	古典B	必修	3単位	此木淳一・佐藤佑紀
教科書	東京書籍「精選古典B」		副教材	「解析 古典文法」「演習ノート」「key&Pointみるみる覚える古文単語300+敬語30」「常用国語便覧」		
授業のねらい	・古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。					
学習上の留意点	・板書だけでなく、教員が話したことも積極的にメモを取ること。 ・毎回小テストを行う。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	源氏物語の概要		我が国最高峰の古典文学に触れ、伝統的な価値観や感情表現を知る。		
	5月	若紫(源氏物語・若紫)				
	6月	萩の上露(源氏物語・御法) もののあはれ論(源氏物語玉の小櫛)				
	7月					
2 学 期	9月	先従隗始・不死之薬・漱石枕流		故事成語となった漢文を理解し、日本人にどのような影響を与えてきたかを考える。		
	10月	文学史①(上代・中古)				
	11月	赤壁之戦(十八史略) 出師表「(十八史略)」				
	12月	文学史②(中世以降)				
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースIクラス		国語	国語演習	必修	4単位	渡辺智之
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。また、現代文Bや古典Bの副教材も使用する。)		
授業のねらい	・多くの文章・問題に触れ、限られた時間の中で正答を導き出す。					
学習上の留意点	・基本的な事柄(漢字・語彙・単語・文法事項)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	通年で多くの文章を読解する。 評論(論理的文章)		・共通テストを意識した演習を行う。 ・漢字・語彙の知識の定着を図る。		
	5月	小説(文学的文章)		・指示内容を確実に掴む。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
	6月	古文		・漢字・語彙の知識の定着を図る。 ・登場人物の心情や思想を理解する。		
	7月	漢文		・単語や文法事項(助動詞・敬語・識別)をきちんと押さえる。 ・登場人物の人物像を確認し、行動や心情を考える。		
2 学 期	9月			・単語や文法事項(再読文字・句形)をきちんと押さえる。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
	10月					
	11月			※上記の内容を、様々な文章によって学んでいく。 ※模試や入試の過去問を中心に演習をしていく。		
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス文系		国語	国語演習	必修	3単位	川口ひろみ
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。また、現代文Bや古典Bの副教材も使用する。)		
授業のねらい	・多くの文章・問題に触れ、限られた時間の中で正答を導き出す。					
学習上の留意点	・基本的な事柄(漢字・語彙・単語・文法事項)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	通年で評論・小説・古文・漢文の読解 評論		・漢字・語彙の知識の定着を図る。 ・指示内容を確実に掴む。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
	5月					
	6月	小説		・漢字・語彙の知識の定着を図る。 ・登場人物の心情や思想を理解する。		
	7月	古文		・単語や文法事項(助動詞・敬語・識別)をきちんと押さえる。 ・登場人物の人物像を確認し、行動や心情を考える。		
2 学 期	9月	漢文		・単語や文法事項(再読文字・句形)をきちんと押さえる。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
	10月					
	11月			※上記の内容を、様々な文章によって学んでいきます。 ※模試や入試の過去問を中心に演習をしていきます。		
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス理系		国語	国語演習	選択必修	2単位	川口ひろみ
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。また、現代文Bや古典Bの副教材も使用する。)		
授業のねらい	・多くの文章・問題に触れ、限られた時間の中で正答を導き出す。					
学習上の留意点	・基本的な事柄(漢字・語彙・単語・文法事項)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	通年で評論・小説・古文・漢文の読解 評論		・漢字・語彙の知識の定着を図る。 ・指示内容を確実に掴む。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
	5月					
	6月	小説		・漢字・語彙の知識の定着を図る。 ・登場人物の心情や思想を理解する。		
	7月	古文		・単語や文法事項(助動詞・敬語・識別)をきちんと押さえる。 ・登場人物の人物像を確認し、行動や心情を考える。		
2 学 期	9月	漢文		・単語や文法事項(再読文字・句形)をきちんと押さえる。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
	10月					
	11月			※上記の内容を、様々な文章によって学んでいきます。 ※模試や入試の過去問を中心に演習をしていきます。		
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス文系		国語	国語演習	必修	3単位	此木淳一・長谷川尚也
教科書	特になし		副教材	漢検協会「文章カステップ」		
授業のねらい	・多くの文章・問題に触れ、限られた時間の中で正答を導き出す。					
学習上の留意点	・基本的な事柄(漢字・語彙・単語・文法事項)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	通年で評論・小説・古文・漢文の読解 評論		・漢字・語彙の知識の定着を図る。 ・指示内容を確実に掴む。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
	5月					
	6月	小説		・漢字・語彙の知識の定着を図る。 ・登場人物の心情や思想を理解する。		
	7月	古文		・単語や文法事項(助動詞・敬語・識別)をきちんと押さえる。 ・登場人物の人物像を確認し、行動や心情を考える。		
2 学 期	9月	漢文		・単語や文法事項(再読文字・句形)をきちんと押さえる。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
	10月					
	11月			※上記の内容を、様々な文章によって学んでいきます。 ※模試や入試の過去問を中心に演習をしていきます。		
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス理系		国語	国語演習	必修選択	2単位	藤井千栄子
教科書	特になし		副教材	漢検協会「文章カステップ」		
授業のねらい	・多くの文章・問題に触れ、限られた時間の中で正答を導き出す。					
学習上の留意点	・基本的な事柄(漢字・語彙・単語・文法事項)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	通年で評論・小説・古文・漢文の読解 評論		・漢字・語彙の知識の定着を図る。 ・指示内容を確実に掴む。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
	5月					
	6月	小説		・漢字・語彙の知識の定着を図る。 ・登場人物の心情や思想を理解する。		
	7月	古文		・単語や文法事項(助動詞・敬語・識別)をきちんと押さえる。 ・登場人物の人物像を確認し、行動や心情を考える。		
2 学 期	9月	漢文		・単語や文法事項(再読文字・句形)をきちんと押さえる。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
	10月					
	11月			※上記の内容を、様々な文章によって学んでいきます。 ※模試や入試の過去問を中心に演習をしていきます。		
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースIクラス	国語	国語表現	必修	3単位	川口ひろみ
教科書	大修館書店「国語表現」		副教材	特になし	
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める ・思考力や想像力を伸ばし、言語感覚の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 				
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・課題は期限内に必ず提出すること。 				
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	単元		学習目標		
1 学 期	4月	書いて伝える	自己表現の手段として、正しい言葉遣いや文法事項を学ぶ。		
	5月	小論文・レポート入門	小論文やレポートの形式を学び、論理的な構成によって読み手が理解しやすい文章を作成する。		
	6月	自己PRと面接	大学入試を意識し、志望理由書や面接の対策となる自己分析を行う。また、それをもとに面接を行う。		
	7月	メディアを駆使する	大学入試における情報収集やインターネット出願を踏まえ、PCなどのメディアを活用する。		
2 学 期	9月	声とコミュニケーション	1学期に行った自己分析をもとに、発声の仕方や抑揚などを学ぶことで、自己表現に慣れる。		
	10月	会話・議論・発表	課題解決能力を向上させるとともに、スピーチ能力の向上も図る。		
	11月	表現を楽しむ	言葉や詩歌の面白さを知り、豊かな表現力を身につける。		
	12月	文章表現	手紙や記書きの書き方を理解し、社会人としての基本を身につける。		
3 学 期	1月		※Iクラスなので、適宜英語での活動も織り交ぜる。		
	2月				
	3月				

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		国語	受験国語	選択	2単位	此木淳一
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。また、現代文Bや古典Bの副教材も使用する。)		
授業のねらい	・多くの文章・問題に触れ、限られた時間の中で正答を導き出す。					
学習上の留意点	・基本的な事柄(漢字・語彙・単語・文法事項)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	通年で評論・小説・古文・漢文の読解 評論		・漢字・語彙の知識の定着を図る。 ・指示内容を確実に掴む。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
	5月					
	6月	小説		・漢字・語彙の知識の定着を図る。 ・登場人物の心情や思想を理解する。		
	7月	古文		・単語や文法事項(助動詞・敬語・識別)をきちんと押さえる。 ・登場人物の人物像を確認し、行動や心情を考える。		
2 学 期	9月	漢文		・単語や文法事項(再読文字・句形)をきちんと押さえる。 ・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
	10月					
	11月			※上記の内容を、様々な文章によって学んでいきます。 ※模試や入試の過去問を中心に演習をしていきます。		
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	総合型対策・国語	選択	2単位	長谷川尚也
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。また、現代文Bや古典Bの副教材も使用する。)		
授業のねらい	総合型入試における学科試験で合格できる力を育成する。					
学習上の留意点	多くの問題に触れられるよう、教員の指示に従い家庭学習も積極的に行うこと。					
評価方法	授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	通年で評論・小説の読解 現代文の基本的な問題		・文章の読解を多数行うことによって、その解法を身に付ける。 ・実際に大学入試の過去問に取り組み、傾向を知る。また、解法を学ぶ。		
	5月	大学入試の過去問				
	6月	漢字や語彙の小テスト		・漢字や語句の意味などの基本事項は確実に暗記する。		
	7月					
2 学 期	9月			※2学期の学習計画は、基本的には1学期に準じます。 また、3学年や進路指導部と連携して、必要な対策を行います。		
	10月					
	11月					
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	文学鑑賞	選択	2単位	河野秀夫
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。)		
授業のねらい	小説、随筆、詩歌などの代表的な文学作品を鑑賞し、そこに描かれた人物の心情や表現を読解する力を養うことを目的とする。また文学作品に共感、豊かに想像することで、創作する力の育成も目指す。					
学習上の留意点	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。					
評価方法	授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	日本文学史概説		・万葉集から村上春樹まで、日本の文学の歴史について概略をつかみ「文学とは何か」としっかり定義する。		
	5月	文学のジャンル		・小説、随筆、日記、韻文(俳句・短歌・詩)の違いについて理解する。短文、短詩の創作を行う		
	6月	小説「舞姫」読解		・人物・情景・心情などを的確に読み取り、表現を味わう。 ・他者の生き方を参考に、自身の生き方を見つめる。 ・文語体の表現を味わい、内容を正確に読み取る。 ・主人公の心理と行動の変化を押さえる。 ・主人公のたどる経過と状況との相関を明らかにする。		
	7月			・授業中は積極的に発言をし、ノートを作成する。 ・試験で内容の理解度を確認する。		
2 学 期	9月	表現の技法		・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について、的確に理解し使用する。		
	10月	文学的な文章を書く		・題材に応じて情報を収集、整理し、表現したいことを明確にする。読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。		
	11月	考えの形成・共有		・目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、ついて評価したりする		
	12月	書評		・論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、引用や要約などをしながら論述したり批評したりする。		
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	日本語と表現	選択	2単位	此木淳一
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。)		
授業のねらい	・漢字だけでなく表現力・語彙力を養う。このため、新聞を読んだり、文章を作成したりする。 ・「書くこと」、「読むこと」が中心となるが、「話すこと」、「聞くこと」も含めた言語活動を通し、日本語について広く探究していく。					
学習上の留意点	必要に応じてプリントを用意する。					
評価方法	授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	通年で以下の内容を学ぶ 漢字の学習		「漢字の読み書き」「対義語・類義語」「同音異義語」		
	5月	(漢字検定など)		「四字熟語」「誤字訂正」「熟語の構成」		
	6月	「文章作成1」		今までの習得した語彙の確認、文章作成。		
	7月					
2 学 期	9月	「語彙の獲得」		新たな語彙の獲得や表現方法を学ぶ。		
	10月			漢字の知識だけでなく、言葉の意味や日本語独特の表現を知る。		
	11月	「文章作成2」		自己でテーマを決め、ある程度まとまった量・内容の文章を作成する。		
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	実用国語	選択	2単位	武井智巳
教科書	特になし		副教材	特になし(適宜プリントを用意する。)		
授業のねらい	・自らの考えをまとめる力、表現する力、伝える力を総合的に身につける。					
学習上の留意点	必要に応じてプリントを用意する。					
評価方法	授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	通年で以下の内容を学ぶ 考えをまとめる		自身の考えを的確にまとめる、伝える力を養う。		
	5月					
	6月	話し言葉と書き言葉		両者の違いを明確にし、使い分けが正しくできるように演習を行う。		
	7月					
2 学 期	9月	自己PR作成		美しい文字、適切な言葉で自己を表現することを狙いとする。		
	10月	敬語		敬語の使い分けを正しく知る		
	11月	まとめ		1・2学期のまとめとして、文章作成やスピーチを行う。		
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					